

電気工事店様へ：説明書に従い下記工事を実施願います。万一不良等ありましたら、組立責任者へご連絡願います。

● カードリーダーの設置

⚠ 注意



B-CASカードをカードリーダーに差し込まない

- B-CASカード使用許諾契約約款により、B-CASカードのパッケージを開封した時点でお客様とB-CAS社との間に契約が成立したと見なされます。B-CASカードはパッケージを開封せずに、お客様にお渡しください。



カードリーダーは脱衣所壁面などお客様の手が届く場所に設置する

- B-CASカードはお客様ご自身でカードリーダーに差し込む必要がありますので、必ずお客様の手が届く場所に設置してください。



浴室内からの湯気・温風などが直接かからない場所に設置する

- 故障の原因となります。



必ずB-CASカードを抜き差しできる向きに設置する

- B-CASカードはお客様ご自身でカードリーダーに差し込む必要があります。周囲にカード挿入の障害となるものがないことを確認後、設置してください。

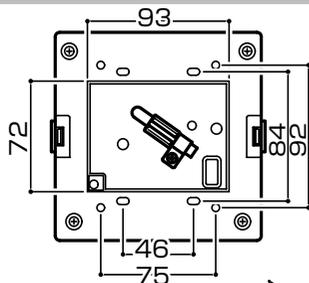


通電(AC100V)したままコネクタを抜き差ししない

- 製品が故障・破損するおそれがあります。

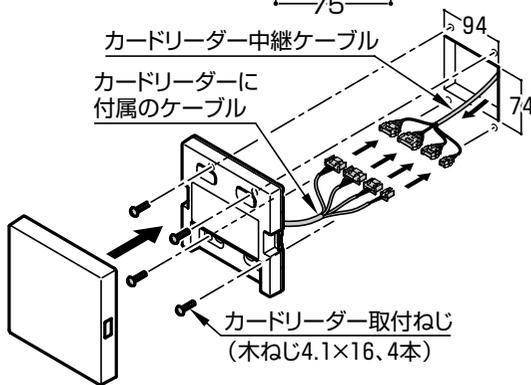
カードリーダー設置方法は2パターンありますので、現場の状況に合わせて取付けしやすい方法で取付けしてください。

※カードリーダー中継ケーブルを保護管に通し取付けする場合は、内径φ22保護管を使用してください。



A 壁へ直接取り付けの場合

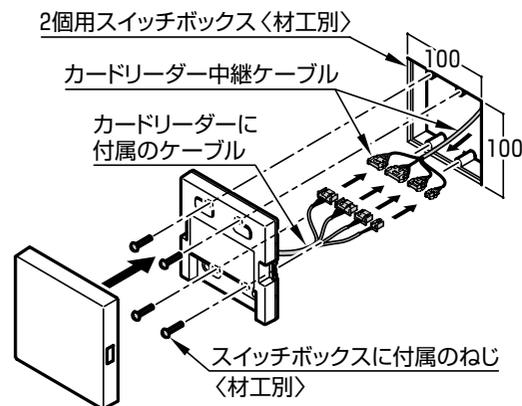
- ① 壁に開口を行う(開口サイズ:74×94)
- ② 天井に仮置きしていたカードリーダー中継ケーブルのカードリーダー側を開口部分まで配線する。
- ③ カードリーダーに付属のケーブルとカードリーダー中継ケーブルを接続する。
- ④ カードリーダー取付ねじ(木ねじ4.1×16、4本)でカードリーダーを壁に固定する。



B 2個用スイッチボックス<材工別>を利用して取付ける場合

- ① 壁に2個用スイッチボックス<材工別>を取付ける。
- ② 天井に仮置きしていたカードリーダー中継ケーブルのカードリーダー側を開口部分まで配線する。

- ③ カードリーダーに付属のケーブルとカードリーダー中継ケーブルを接続する。
- ④ スwitchボックスに付属のねじ<材工別>でカードリーダーをスイッチボックスに固定する。



⚠ 注意



カードリーダーは確実に取付ける

- 作動不良の原因になります。

カードリーダーは、浴室内には取付けない

- 故障の原因になります。

● 電源ケーブル・アンテナ線の接続

- ① 電源ケーブルを接続する。

⚠ 注意



必ず漏電遮断器および屋内開閉器のある電路に接続する

- 感電するおそれがあります。

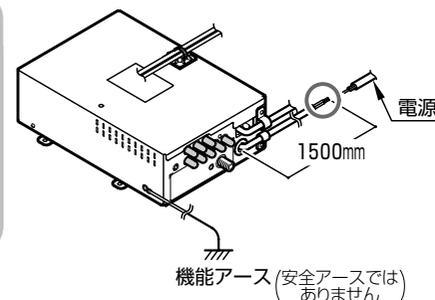
- ※ 電源・チューナーボックス付属の電源ケーブル(VVF 1500mm)を電源に接続してください。
- ※ アース工事(接地工事)を必ず行ってください。

⚠ 警告



電気工事は関連する法令・法規にしたがって必ず「有資格者(電気工事士)」が行う また、アース接続は必ず行う

- 誤った工事を行うと、故障や漏電のときに感電するおそれがあります。



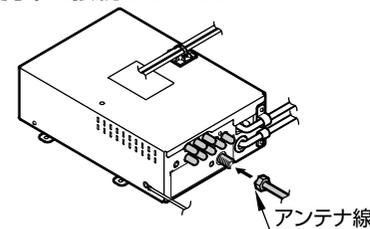
- ② 電源・チューナーボックスにアンテナ線を接続する。

※ 電源・チューナーボックスのF型コネクタ(アンテナ入力端子)に接続してください。

⚠ 注意



- アンテナ端子への入力電界は70dBμVを目安にしてください。
- 受信可能な放送は地上アナログ放送/地上デジタル放送/CATVです。BS、CS放送等のチューナーは内蔵していません。



● 試運転

1次側電源接続後に確認してください

①「電源」ボタンを押し、電源が入ることを確認してください。

※モニターのパワーランプ（白色）が点滅して電源が入らない場合、カードリーダー中継ケーブルが正しく接続されていることを確認し、ブレーカー（AC100V）を「切」/「入」してください。ブレーカーを「入」にして約1分待った後、モニターのパワーボタンを押してください。

②「外部切替」ボタンを押し、画面が「テレビ」→「外部入力1」→「外部入力2」と切替わることを確認後、「放送切替」ボタンを押し、「テレビ」にしてください。

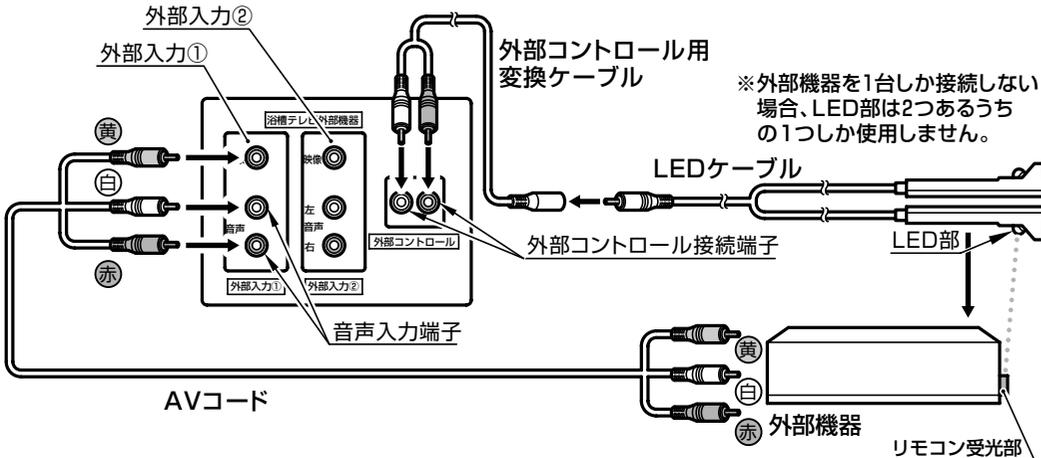
③「チャンネル」ボタンを押し、映るチャンネルがあることを確認してください。

※本製品は工場出荷時にVHF（1～12ch）のみ設定されています。

※映らない場合は、以下の手順に従いチャンネル設定を行ってください。

「メニュー」ボタン・押す→メニュー画面内・「地上アナログ設定」を押す→メニュー画面内・「自動チャンネル設定」選択→「決定」ボタン・押す（設定完了後、自動的にテレビ画面に戻ります。）再度、「チャンネル」ボタンを押し、確認してください。

④実際に外部機器を接続して動作確認をしてください。



※外部機器用ケーブルの接続方法及び壁コンセントの取付け要領については、組立要領書をご覧ください。

⚠ 注意

LEDケーブルは映像機器のリモコン受光部に向けて設置し、マスキングテープ等で仮固定する

作動確認後、必ずリモコンコード設定を解除する

●浴室テレビ組立要領書の29～31ページをご覧ください。



必ず実行

同梱のB-CASカード、リモコン、リモコンホルダー、ボタン型電池、取扱説明書、外部コントロール用変換ケーブル、LEDケーブルは取扱説明書の袋に入れ、お客様に確実にお渡しください。

また保管の際は直射日光のあたる場所（窓際など）に置かないでください。

● 試運転の際、故障かな?と思ったら

不具合の内容	チェックポイント
電源が入らない	電源は正しく接続されていますか? 屋内開閉器はオンになっていますか? →電源を正しく接続し、電源をオンにしてください。 ※初めて電源をオンにする際は、地上デジタルチューナーに電気を供給する時間が必要なため、約1分待った後にモニターをオンにしてください。 <モニターのパワーランプ（白色）が点滅して電源が入らない場合> カードリーダー中継ケーブルが正しく接続されていることを確認し、ブレーカー（AC100V）を「切」/「入」してください。ブレーカーを「入」にして約1分待った後、モニターのパワーボタンを押してください。
映像が映らない	モニター中継ケーブルは正しく接続されていますか? アンテナは正しく設置されていますか? →アンテナ線およびアンテナを正しく接続・設置してください。 地上デジタル放送を受信するためには、地上デジタル放送に対応したUHFアンテナが別途必要です。
映像が悪い	モニター中継ケーブルはしっかりと接続されていますか? アンテナ線が他の電気機器の上を通ったりしていませんか? アンテナの向きは正しいですか? 周囲に雑音となる原因がありませんか? →モニター中継ケーブルをしっかりと接続し、アンテナ配線およびアンテナの向きを調整してください。また雑音の原因を取り除いてください。

定 格 電 圧	AC100V（モニター部13V）
定 格 周 波 数	50/60Hz共用
定 格 消 費 電 力	約36W（待機時約1.7W）
地上アナログ受信チャンネル	VHF: 1～12ch, UHF: 13～62ch, CATV: C13～C63
地上デジタル受信チャンネル	001～999（CATVパススルー対応）

※BS、CSデジタルチューナーは内蔵していません。